





エフェドリン「ナガキ」 喘息・鎮咳治療劑

本劑は長井博士が明治十八年に *Ephedra vulgata* 中に発見せられ爾來研究の結果確認されたる有効成分エフェドリン *Cathano* の塩酸塩なり。

エフェドリン「ナガキ」は發見創製者たる長井博士の命名に係り殆ど直接指導を得て弊社に於て製造せる世界に誇り得る學術的並に歴史的に由緒あり権威ある唯一の良劑なれば他の同種製品とは全く其趣を異にせり。

尙經口的に喘息治療劑として優秀なる事は既に世界的に確認せられ加之其構造に於てエヒレナミンのそれに近似するご同時に作用に於ても極めて酷似せるを以てエヒレナミンが諸種の疾患に對して實地上甚だ廣く用ゐらるゝご同様にエフェドリン「ナガキ」も亦諸種の疾患に廣く應用せらるゝ事當然にして然もエヒレナミンの道徳し能はざる數多の優越點を有するを以て目下盛に各科領域に於ても實用されつゝあり。

特 徴

- 一、本劑は酸味、光線、熱等に對する抵抗力大なるが故に副腎有効成分エヒレナミンの如く變質(着色)、効力減退等なく効力常に一定不變なり。
- 二、本劑は經口的にも非經口的にも投與せられ、其作用迅速にして且持續時間副腎有効成分エヒレナミンよりも長久なり、是れ本劑の優越點とす。
- 三、錠劑は普通藥にして長期に亘り安心して使用し得らる。

喘 息、氣管支加答兒、一般咳嗽、百日咳、盜汗、夜尿症、痰癆、痔疾、蕁麻疹、一般心臟衰弱、其他各科領域に於ける鎮咳、止血等。

用 法 及 用 量

内服用 散劑末(日本藥局方) 一回 0.1g(10錠) 一日 一—三回服用
 散劑末(四倍用) 一回 0.01g(1錠) 一日 一—三回服用
 注射用 散劑末(四倍用) 一回 1cc(皮下又は筋肉内を可す)

本劑の有効量は各人に因りて異なる。

一、喘息發作前預防の目的には最初一—二錠を服用し、尙輕き發作のある場合は三〇分後更に一—二錠を服用す可し、服用後輕微の不快感あれば次より少量す新くして其最好適量を知り得べし。又安眠の爲には就床前服用す可し。

一、輕き喘息發作を鎮靜せしむる爲には一—二錠宛一日二—三回服用す可し。

一、重き喘息發作を鎮靜せしむる爲には二—三錠宛一日二—三回服用す可し。

包 裝

散劑末(日本藥局方) 一瓦 一〇〇錠 二五瓦 二五〇錠
 散劑末(四倍用) 一〇〇管 一〇〇〇錠 二五〇管 二五〇〇錠
 散劑末(十倍用) 二五瓦 一〇〇〇錠 六二五瓦 六二五〇錠
 (十分中一分の塩酸エフェドリンを含有す)

製造發賣元 **大日本製藥株式会社**
 支店 東京都日本橋區本町二丁目
 販賣元 **武田薬品工業株式会社**
 大阪市東區道修町三丁目二十五番地
 大阪市東區道修町二丁目



